

『中国における健康意識と日本食に関する調査 2021年』

～ 中国における健康意識と健康のために利用している食品や飲料 & 日本食に対するイメージとメニューの認知、喫食経験に関する調査 ～

結果報告書

2021年

株式会社日本能率協会総合研究所

Copyright© 2021 JMA Research Institute Inc.



株式会社 日本能率協会総合研究所

INDEX

中国における健康意識と
日本食に関する調査
2021年

調査概要	2	3. 運動やスポーツの実施状況	64
使用した調査票	6	・ 定期的なスポーツや運動の実施状況	65
中国の現状と対象都市の概要	12	・ 現在行っているスポーツや運動	66
・ 基本統計データ（人口、平均寿命、肥満率、訪日中国人観光客数）		・ 今後（も）したいスポーツや運動	68
・ コンビニ店の売場イメージ			
調査結果	23	4. 日本食への好意度と 日本食メニューの認知、よく食べるメニュー	71
1. 対象者プロフィール	24	・ 最近3年間の日本での滞在日数	72
・ 未婚／同居人数／同居家族	25	・ 「日本食」に対する好感度	73
・ 職業／個人月収	26	・ 「日本食」のイメージ	75
2. 健康と食に対する意識	34	・ 「日本食のイメージ」と「ふだんの食事について 気にしていること」の比較	76
・ 健康への気づかい／ストレス状況	35	・ 知っている／外食でよく食べる ／持ち帰り・通販でよく食べる「日本食」	80
・ 健康を維持するために重要なこと	40	・ 知っている「日本食」	81
・ 健康について現在気になっているもの	43	・ レストランなどの外食でよく食べる「日本食」	84
・ 健康に関する食品、飲料の意識	45	・ 百貨店やスーパーや外食店での持ち帰り、 通信販売を利用してよく食べる「日本食」	86
『健康によいとされる食品、飲料への出費は惜しまない』			
『健康によいとされる食品、飲料はいろいろと使ってみる』			
・ 「ふだんの食事」について気にしていること	49	結果の要約	89
・ 健康・美容のために 実際に定期的に食べたり飲んだりしているもの	53	(株)日本能率協会総合研究所のご紹介	98
・ 健康・美容のために 実際に定期的に食べたり飲んだりしている理由	57		
・ 実際に効果を実感できている／今後も利用したい	61		
・ 健康によい商品に関する情報の情報源	62		

調査概要

調査概要

中国における健康意識と
日本食に関する調査
2021年

- ・調査目的 : 中国の都市部における健康と食に対する意識、さらに日本食に対する好意度や認知、食べた経験のあるメニューなどを把握する
・一部の項目については、弊社で2015年に実施した調査データと比較し変化を確認する
2015年の調査概要、比較についての留意点については次頁に記載
- ・調査方法 : モニターに対するインターネット調査
- ・対象都市 : 7都市（北京市、上海市、広州市、天津市、成都市、西安市、瀋陽市）
- ・調査対象者 : 男女20歳から69歳
- ・対象条件 : 学生を除く現在の個人月収が3,000元（約51,000円 1元=17円）以上
現在の居住都市に3年以上住んでいる
- ・サンプル数 : 3,500名
- ・サンプル構成 : 性別・年代・居住都市による割付を行った

	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
北京市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
上海市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
広州市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
天津市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
成都市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
西安市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
瀋陽市	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	500
計	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	3,500

- ・調査実施 : 上海日本能率協会総合研究所
- ・調査設計、調査内容の監修 : ビジエージャ株式会社
- ・調査実施期間 : 2021年4月25日～5月10日

- ・調査方法 : モニターに対するインターネット調査
- ・対象都市 : 北京市、上海市、広州市、成都市、瀋陽市、その他地域
- ・調査対象者 : 男女20歳から59歳
- ・対象条件 : 特になし
- ・サンプル数 : 3,000名
- ・サンプル構成 : 都市別とその他の地域別の性別・年代の割付を行った

	男性				女性				計
	20代	30代	40代	50代	20代	30代	40代	50代	
北京市	50	50	50	50	50	50	50	50	400
上海市	50	50	50	50	50	50	50	50	400
広州市	50	50	50	50	50	50	50	50	400
成都市	50	50	50	50	50	50	50	50	400
瀋陽市	50	50	50	50	50	50	50	50	400
*その他の地域	125	125	125	125	125	125	125	125	1,000
計	375	375	375	375	375	375	375	375	3,000

*主なその他の地域：浙江省（148名）江蘇省（148名）、重慶市（137名）、天津市（74名）、湖北省（72名）

- ・調査実施 : 日本能率協会総合研究所上海
- ・調査実施時期 : 2015年8月

2015年調査と今回調査との比較方法と比較した項目

【比較方法】

今回調査との比較は、対象者の年代を合わせるために、今回調査を20歳から59歳（2,800名）とし、それぞれ全体値を比較した。ただし、対象者条件が同一ではないため参考として記載した。

【比較した項目】

- ・健康への気づかい（Q10）
- ・ストレスを感じる割合（Q11）
- ・健康意識：「健康によいとされる食品、飲料への出費は惜しまない」（Q13-1）
- ・健康意識：「健康によいとされる食品、飲料はいろいろ使ってみる」（Q13-2）
- ・健康・美容のために実際に定期的に食べたり、飲んだりしているもの（Q14）

（ ）のQ番号は今回調査（2021年）の番号

使用した調査票

調査票 (1)

中国における健康意識と
日本食に関する調査
2021年

Q 1 あなたの性別・年代をお答えください。(ひとつだけ)

- | | | | |
|-----------|------|-----------|------|
| 1 男性19歳以下 | → 中止 | 7 女性19歳以下 | → 中止 |
| 2 男性20代 | | 8 女性20代 | |
| 3 男性30代 | | 9 女性30代 | |
| 4 男性40代 | | 10 女性40代 | |
| 5 男性50代 | | 11 女性50代 | |
| 6 男性60代 | | 12 女性60代 | |

Q 2 あなたの現在住んでいる都市をお答えください。(ひとつだけ)

- | | |
|-------|----------|
| 1 北京市 | 5 成都市 |
| 2 上海市 | 6 西安市 |
| 3 広州市 | 7 瀋陽市 |
| 4 天津市 | 8 その他の都市 |
- 中止

Q 3 現在住んでいる都市にあなたは何年くらい住んでいますか。(ひとつだけ)

- 1 3年未満 → 中止
2 3年以上

Q 4 あなたはご結婚されていますか。(ひとつだけ)

- 1 未婚
2 既婚
3 その他

Q 5 あなたの現在の同居している人数をお答えください。

一人暮らしの場合は「1人」とお答えください。(ひとつだけ)

- 1 1人 → Q7へ
2 2人
3 3人
4 4人
5 5人以上

Q 6 あなたが現在の同居している方を以下からすべてお答えください。(いくつでも)

- | | |
|------------|---------|
| 1 配偶者(夫、妻) | 5 親・義理親 |
| 2 子供(未就学) | 6 兄弟 |
| 3 子供(学生) | 7 孫 |
| 4 子供(社会人) | 8 その他 |

Q 7 あなたの現在の職業をお答えください。(ひとつだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 学生 → Q9へ | 7 自由業・フリーランス |
| 2 会社員 | 8 アルバイト |
| 3 政府機関、公務員 | 9 専業主婦・専業主夫 |
| 4 会社経営者 | 10 無職 |
| 5 農業、漁業、林業 | 11 その他 |
| 6 個人経営者・自営業 | |

Q 8 あなたご自身のおおよその月収をお答えください。(ひとつだけ)

- 1 2,999元以下 → 中止
2 3,000~4,999元
3 5,000~7,999元
4 8,000~9,999元
5 10,000~14,999元
6 15,000~19,999元
7 20,000~29,999元
8 30,000~39,999元
9 40,000元以上

Q 9 あなたが「ふだんの食事」について気にしているのはどのようなことですか。

以下からあてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

- 1 塩分や油分が控えめであること
- 2 健康によい食材を使うこと
- 3 高級感／贅沢感があること
- 4 素材の味を大事にしていること
- 5 新鮮な食材を使うこと
- 6 見た目がよいこと
- 7 たくさんの食材を使うこと
- 8 栄養のバランスがよいこと
- 9 複雑な味であること
- 10 簡単に作れること
- 11 飽きがこないこと
- 12 ポリウムがあること
- 13 特になし

2015年実施

Q 10 あなたはふだん、どの程度「健康」に気を使っていますか。（ひとつだけ）

- 1 かなり気を使っている
- 2 少し気を使っている
- 3 どちらともいえない
- 4 さほど気を使っていない
- 5 ほとんど気を使っていない

2015年実施

Q 11 あなたはふだん、どの程度「ストレス」を感じていますか。（ひとつだけ）

- 1 かなり感じている
- 2 やや感じている
- 3 どちらともいえない
- 4 さほど感じている
- 5 ほとんど感じている

Q 12 あなたが、健康を維持するために重要だと思うものを

以下から3つまでお答えください。（3つまで）

- 1 規則正しい食生活
- 2 意識的に健康によい食品や飲料、サプリメントを利用すること
- 3 睡眠・休息
- 4 ストレスをためないこと
- 5 運動など定期的に体を動かすこと
- 6 定期的に医師に相談したり健康診断を受診すること
- 7 マッサージや指圧などの体のメンテナンス
- 8 特に重要だと思うことはない

2015年実施

Q 13 以下の「健康」に関することで、あなたの気持ちに最も近いと思うものをお答えください。（ひとつだけ）

マトリクス

- 1 健康によいとされる食品、飲料への出費は惜しまない
- 2 健康によいとされる食品、飲料はいろいろと使ってみる

回答項目

- 1 あてはまる
- 2 ややあてはまる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりあてはまらない
- 5 あてはまらない

2015年実施

Q 14 あなたが現在、健康・美容のために実際に定期的に食べたり飲んだりしているものを以下からすべてお答えください。（いくつでも）

- 1 牛乳
- 2 ヨーグルト、乳酸菌製品
- 3 赤ワイン
- 4 ミネラルウォーター
- 5 ジュース類（青汁、果実・野菜100%）
- 6 栄養ドリンク、スポーツドリンク
- 7 野菜サラダ
- 8 有機野菜、無農薬野菜
- 9 豆腐、豆乳などの大豆製品
- 10 フルーツ類
- 11 オーガニック食品
- 12 健康茶
- 13 果実酢、酢飲料
- 14 生薬・漢方
- 15 玄米・発芽玄米・雑穀
- 16 低カロリーフード、ダイエット食品
- 17 サプリメント
- 18 定期的に食べたり飲んだりしているものはない

→ Q17へ

Q 15 あなたが現在、健康・美容のために定期的に食べたり飲んだりしている理由としてあてはまるものを3つまでお答えください。（3つまで）

- 1 病気の予防、免疫力の向上
- 2 疲労回復
- 3 胃腸機能の改善
- 4 睡眠の改善
- 5 アンチエイジング（抗加齢）
- 6 不足している栄養素の補充
- 7 美肌・肌荒れ解消
- 8 骨粗しょう症の予防
- 9 健脳効果（頭の働きを良くする）
- 10 中性脂肪、コレステロール値の調整
- 11 血圧の調整
- 12 貧血の改善
- 13 血糖値の調整
- 14 肝機能の改善
- 15 ダイエット（体脂肪の低下）
- 16 具体的な効果はわからないが健康によいと思うから
- 17 その他

Q 16 あなたが現在、健康・美容のために定期的に食べたり飲んだりしているものの中で「実際に効果を実感できている」と感じるものを以下からすべてお答えください。（いくつでも）
<Q14で回答があったもののみ表示>

- 1 牛乳
- 2 ヨーグルト、乳酸菌製品
- 3 赤ワイン
- 4 ミネラルウォーター
- 5 ジュース類（青汁、果実・野菜100%）
- 6 栄養ドリンク、スポーツドリンク
- 7 野菜サラダ
- 8 有機野菜、無農薬野菜
- 9 豆腐、豆乳などの大豆製品
- 10 フルーツ類
- 11 オーガニック食品
- 12 健康茶
- 13 果実酢、酢飲料
- 14 生薬・漢方
- 15 玄米・発芽玄米・雑穀
- 16 低カロリーフード、ダイエット食品
- 17 サプリメント
- 18 実際に効果を実感できているものはない

2015年実施

Q 17 では、あなたが今後（今後も）健康・美容のために定期的に食べたり飲んだりしたいと思うものを以下からすべてお答えください。（いくつでも）

- 1 牛乳
- 2 ヨーグルト、乳酸菌製品
- 3 赤ワイン
- 4 ミネラルウォーター
- 5 ジュース類（青汁、果実・野菜100%）
- 6 栄養ドリンク、スポーツドリンク
- 7 野菜サラダ
- 8 有機野菜、無農薬野菜
- 9 豆腐、豆乳などの大豆製品
- 10 フルーツ類
- 11 オーガニック食品
- 12 健康茶
- 13 果実酢、酢飲料
- 14 生薬・漢方
- 15 玄米・発芽玄米・雑穀
- 16 低カロリーフード、ダイエット食品
- 17 サプリメント
- 18 健康・美容のために今後定期的に利用したいと思うものはない

Q 18 あなたは、健康によい商品に関する情報をどのように得ていますか。
以下からあてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

- 1 テレビ番組（中華医薬などの専門解説）
- 2 テレビ番組（天天飲食、美食美容などの料理番組）
- 3 テレビショッピング番組
- 4 テレビCM
- 5 家族
- 6 友人や同僚
- 7 医者・保健師などの専門家
- 8 新聞記事
- 9 料理雑誌
- 10 健康雑誌
- 11 メーカーや商品のオフィシャルサイト
- 12 インターネット上のブログ
- 13 インターネット上の口コミ
- 14 SNS（微博、微信など）
- 15 動画投稿サイト（抖音、小红书など）
- 16 お店の店頭
- 17 通信販売のカタログ・広告
- 18 その他
- 19 健康によい商品に関する情報は気にしていない

Q 19 あなたが現在気になっているものを以下からすべてお答えください。（いくつでも）

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 睡眠障害 | 9 高血圧 |
| 2 食欲不足 | 10 動脈硬化 |
| 3 慢性疲労 | 11 中性脂肪 |
| 4 頭痛 | 12 内臓脂肪 |
| 5 疲れ目 | 13 肥満 |
| 6 肩こり | 14 胃や腸の不調 |
| 7 亜健康 | 15 食事の栄養バランス不足 |
| 8 糖尿病 | 16 特に気になっているものはない |

Q 20 あなたが現在、定期的にスポーツや運動をしていますか。
（ひとつだけ）

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1 定期的にスポーツや運動をしている | → Q21へ |
| 2 定期的ではないが、時々スポーツや運動をしている | → Q21へ |
| 3 スポーツや運動をしていない | → Q22へ |

Q 21 あなたが行っているスポーツや運動を以下からお答えください。
（いくつでも）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 ジョギング | 11 サイクリング |
| 2 散歩・ウォーキング | 12 バレーボール |
| 3 体操・フィットネス・エクササイズ | 13 バスケットボール |
| 4 ダンス | 14 サッカー・フットサル |
| 5 ヨガ | 15 ゴルフ（練習場を含む） |
| 6 水泳 | 16 スキー・スノーボード |
| 7 ハイキング・山登り | 17 スケート |
| 8 テニス | 18 クライミング・ボルダリング |
| 9 卓球 | 19 その他 |
| 10 バドミントン | |

Q 22 ではあなたが今後（も）、したいと思うスポーツや運動を以下からお答えください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 ジョギング | 11 サイクリング |
| 2 散歩・ウォーキング | 12 バレーボール |
| 3 体操・フィットネス・エクササイズ | 13 バスケットボール |
| 4 ダンス | 14 サッカー・フットサル |
| 5 ヨガ | 15 ゴルフ（練習場を含む） |
| 6 水泳 | 16 スキー・スノーボード |
| 7 ハイキング・山登り | 17 スケート |
| 8 テニス | 18 クライミング・ボルダリング |
| 9 卓球 | 19 その他 |
| 10 バドミントン | 20 今後（も）したいと思うものはない |

Q 23 あなたにとって「日本食」はどのような印象がありますか。

以下からあてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

※「日本食」とは、一般的に日本でよく食べられている料理、食品とお考えください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 塩分や油分が控えめ | 8 栄養のバランスがよい |
| 2 健康によい食材を使っている | 9 複雑な味 |
| 3 高級感／質実感 | 10 簡単に作れる |
| 4 素材の味を大事にしている | 11 飽きがこない |
| 5 新鮮な食材を使っている | 12 ボリュームがある |
| 6 見た目がよい | 13 特に印象はない |
| 7 たくさんの食材を使っている | |

Q 24 あなたは「日本食」全般が好きですか。（ひとつだけ）

※「日本食」とは、一般的に日本でよく食べられている料理、食品とお考えください。

- 1 とても好き
- 2 まあ好き
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり好きではない
- 5 全く好きではない
- 6 「日本食」をよく知らないので答えられない

Q 25 以下にあげた「日本食」の中で、あなたが知っているものを以下からお答えください。
（いくつでも）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 寿司 | 10 お好み焼き |
| 2 刺身 | 11 焼き鳥 |
| 3 天ぷら | 12 （日式）焼肉 |
| 4 鉄板焼き | 13 おにぎり |
| 5 とんかつ | 14 おでん |
| 6 親子丼、牛丼などの丼もの | 15 りんごなどの果物 |
| 7 そば、うどんなどの麺類 | 16 日本酒・焼酎 |
| 8 すき焼き | 17 日本ウイスキー |
| 9 しゃぶしゃぶ | 18 知っているものはない |
- Q28へ

Q 26 あなたが、レストランなどの外食でよく食べる「日本食」を以下からお答えください。
（いくつでも）

Q25の認知メニューを呈示

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 寿司 | 11 焼き鳥 |
| 2 刺身 | 12 （日式）焼肉 |
| 3 天ぷら | 13 おにぎり |
| 4 鉄板焼き | 14 おでん |
| 5 とんかつ | 15 りんごなどの果物 |
| 6 親子丼、牛丼などの丼もの | 16 日本酒・焼酎 |
| 7 そば、うどんなどの麺類 | 17 日本ウイスキー |
| 8 すき焼き | 18 レストランなどの外食でよく食べるものはない |
| 9 しゃぶしゃぶ | |
| 10 お好み焼き | |

Q 27 あなたが、百貨店やスーパーや外食店での持ち帰り、通信販売を利用してよく食べる「日本食」を以下からお答えください。（いくつでも）

Q25の認知メニューを呈示

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 寿司 | 11 焼き鳥 |
| 2 刺身 | 12 （日式）焼肉 |
| 3 天ぷら | 13 おにぎり |
| 4 鉄板焼き | 14 おでん |
| 5 とんかつ | 15 りんごなどの果物 |
| 6 親子丼、牛丼などの丼もの | 16 日本酒・焼酎 |
| 7 そば、うどんなどの麺類 | 17 日本ウイスキー |
| 8 すき焼き | 18 持ち帰りや通信販売を利用してよく食べるものはない |
| 9 しゃぶしゃぶ | |
| 10 お好み焼き | |

Q 28 あなたは最近3年以内に日本に滞在したことがありますか。

最近3年以内に滞在したことがある場合は、大体の合計日数をお答えください。

（ひとつだけ）

- 1 合計で30日以上滞在したことがある
- 2 合計で20-29日間滞在したことがある
- 3 合計で10-19日間滞在したことがある
- 4 合計で6-9日滞在したことがある
- 5 合計で5日間以下滞在したことがある
- 6 最近3年間に日本に滞在したことはない

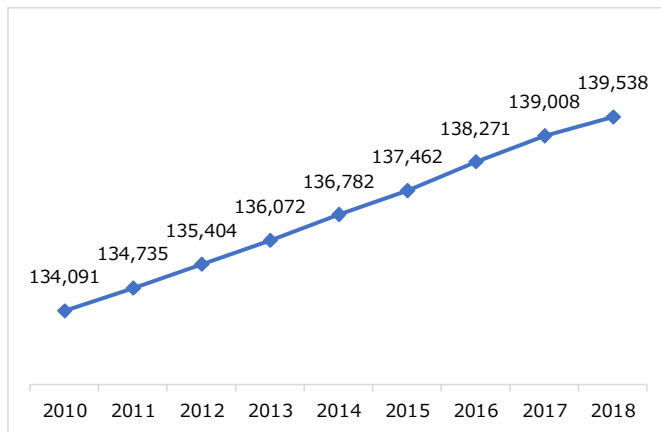
中国の現状と対象都市の概要

人口と平均寿命

中国における健康意識と
日本食に関する調査
2021年

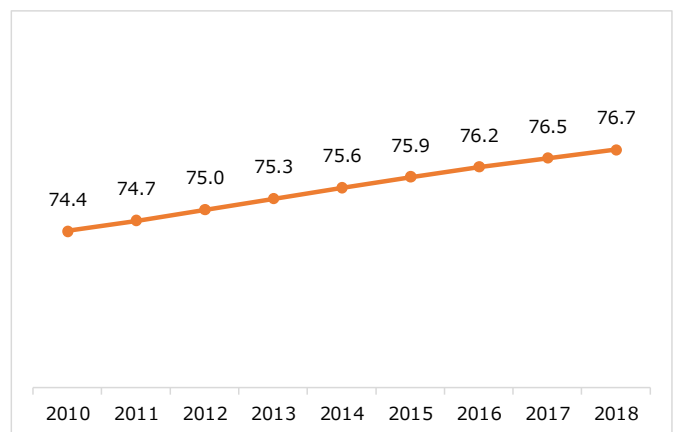
- 人口は2018年時点で13億9,000万人以上と世界第一位であり、2020年には14億人を超えた。
また、経済発展と生活レベルの向上に合わせて平均寿命も年々高まっている。

総人口 (万人)



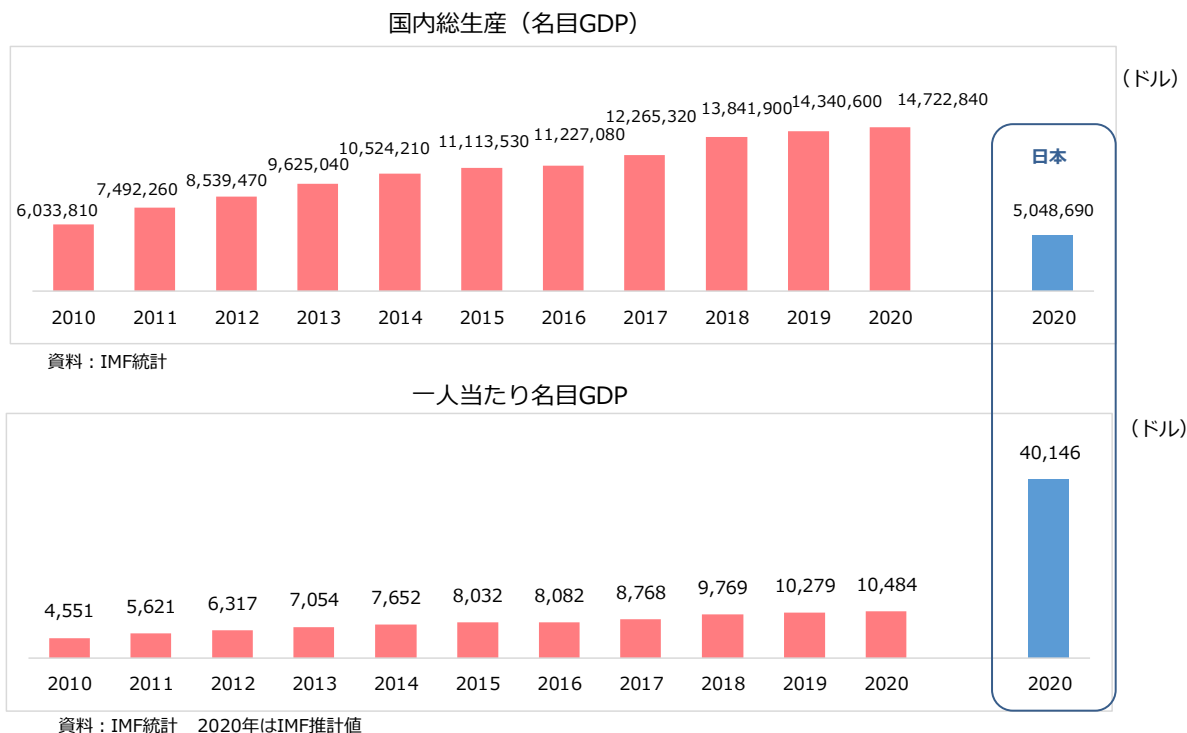
資料：『中国統計摘要』

平均寿命 (歳)



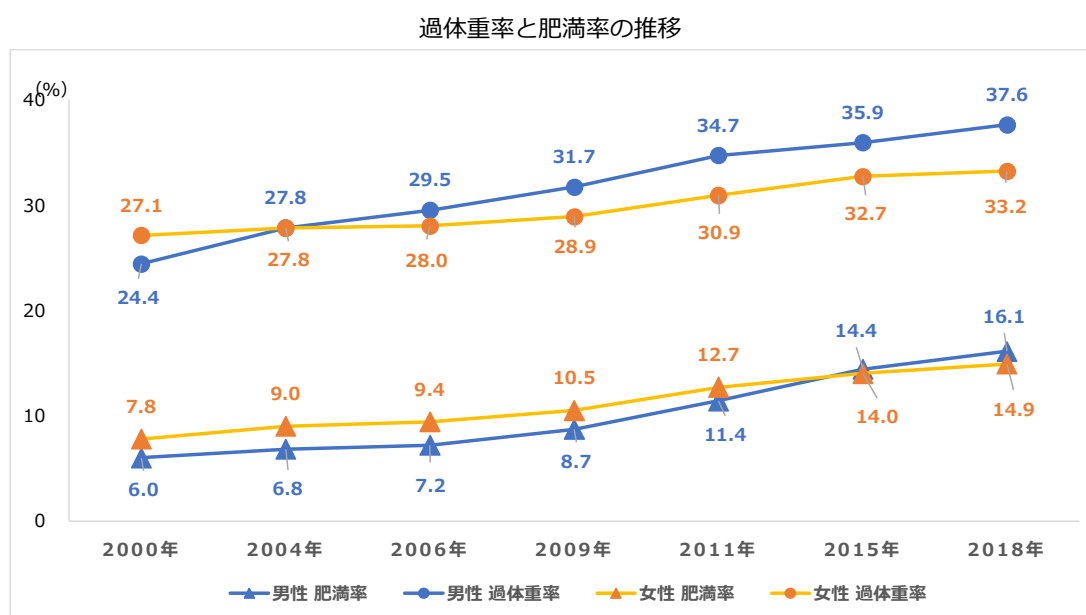
資料：『中国統計年鑑』

- 国内総生産（GDP）と一人当たりGDPも右肩上がりを続けており、その人口規模と合わせて、世界最大の市場を形成している。
- 日本との比較では、国内総生産は大きく上回るが、一人当たりGDPではまだ日本の約1/4である。



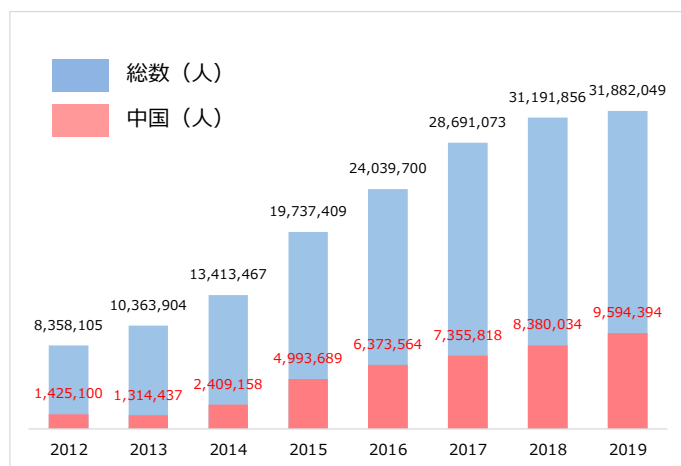
過体重率と肥満率

- 男女とも過体重率、肥満率ともに年々増加している。



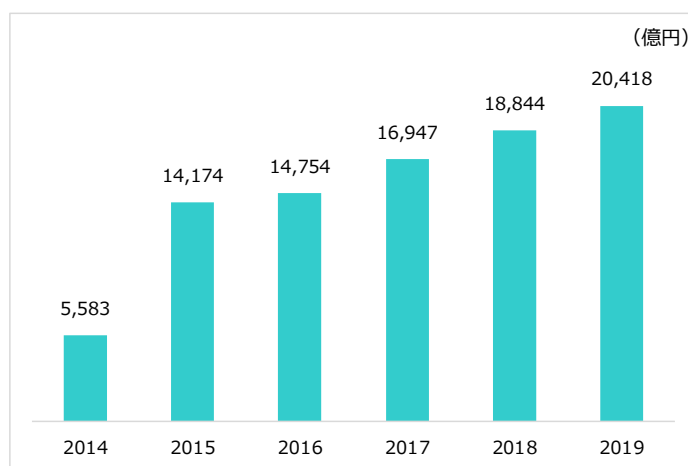
- 訪日外国人数は、日本のインバウンド政策の強化に伴い2012年以降増加を続け、2019年には合計で約3,200万人となった。
中国からの観光客も増加を続け、2019年には約960万人が来日し2015年からはほぼ2倍となり、訪日客全体の1/3を中国人観光客が占めた。
- 訪日中国人の増加に伴い消費額も増加し、2014年には5,583億円であったが2019年には2兆円を超えた。

訪日外国人数



出典：日本政府観光局

訪日中国人による年間のインバウンド消費額



出典：日本政府観光局

日本食レストランとコンビニ

■ 日本食レストラン

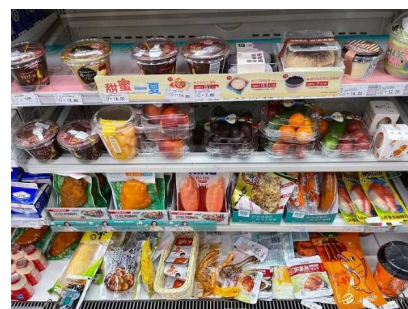
中国の経済発展と生活レベルの向上にともない、中国国内の日本食レストラン数は増加している。大手日系チェーン店の牛丼、カレー、ラーメンをはじめ、居酒屋、寿司、高級店など様々な日本食店があり、若者を中心に日本食の人気は高まっている。
中国の東方網によると、2015年には全土で2万3,000店であったが、2017年には4万店以上と増加率は7割を超え、広東省では4,000店以上、上海市だけでも3,000店となっている。

■ コンビニ

2018年時点で中国本土には沿岸都市部を中心に12万店以上（日本国内では約5.8万店）の店舗があり、売上、店舗数とも拡大を続けている。日系では90年代以降「ローソン」、「セブンイレブン」、「ファミリーマート」などが進出し、日本で人気のおにぎりなどの米飯類、麺類、おでん、スイーツなどを販売している。ローソンは2017年に1,000店舗、2018年に2,000店舗、2020年には3,000店舗に達し、今後も店舗数の拡大を目指している。



上海の日系コンビニ店の売り場（おでん、牛乳・乳製品、その他食品）



調査対象とした7都市

人口規模や地理的なロケーションを考慮し調査対象として7都市を設定した。



調査対象の7都市の概要（1）

■ 北京市：中華人民共和国の首都、4つある*直轄市の1つ

人口：約2,189 万人（2020年）

華北平原の北端に位置し、東は天津市と隣接し、残りの部分は河北省と隣接している。

中国の政治の中枢であり、上海と並ぶ経済・学術・文化の中心地である。

また、中国の代表的な観光都市として知られ、古都にふさわしい第一級の名勝史跡に恵まれており、外国人観光客数、観光外貨収入は国内第1位である。日本人の語学留学生（標準中国語）の行き先は北京が一番多く、日本人学校もある。

■ 上海市：直轄市の1つ

人口：2,487 万人（2020年）

中国の東側（華東エリア）、長江の河口に位置し、高層ビルが建ち並び最大の経済都市であり、商業・金融・工業・交通などの中心地である。

短期滞在者を含めると10万人以上の日本人が滞在しているといわれる。

日本総領事館や日本人学校などもあり、日本料理店をはじめ、日本人向けの店も多い。

■ 天津市：直轄市の1つ

人口：1,560万人（2018年）

華北平原の北東部に位置し東は渤海に臨み、北は首都北京と隣接しており高速鉄道で約30分の距離である。

中国北方最大の対外開放港であり、大規模な港湾やコンテナターミナル、工業地帯が形成されており、中国の工業と貿易の発展の中心地である。

高層ビルが建ち並び、古い町並みも残っており観光都市でもある。

*直轄市：最高位の都市であり、省と同格の一級行政区画

現在、北京市、上海市、重慶市、天津市の4市がある

調査対象の7都市の概要（2）

■ 広州市：広東省の省都、副省級市、**国家中心都市の一つであり人口は上海市、北京市に次いで3番目

人口：1,531万（2019年）

珠江デルタ地帯の北部、西江、北江、東江の合流地点に位置する港湾都市である。

広東省のみならず、華南地域全体の経済、文化、教育、交通などの中心都市の一つであり、自動車産業が盛んで日系メーカーも多数進出している。IT産業やバイオテクノロジーにも力を入れており、

また深圳市と共に広東省における金融センターとして機能している。

食文化が盛んであり中国各地の料理店をはじめ欧米系ファストフード店やコーヒーショップ、回転寿司店など多い。

■ 成都市：四川省の省都、***副省級市、中国西南部の要衝

人口：1,633 万人（2019年）

四川料理とパンダの生息地で有名な中国四川省の省都である。成都平原の東側にあり、北京の南西約2千kmの中国の内陸部に位置する。温暖で雨も多く、土地は肥沃で産物も豊富なことから『天府の国』と呼ばれてきた。古都としての歴史的な観光資源が多く、四川省に点在する世界遺産などの観光基地となっている。

また2000年代に始まった西部大開発の拠点都市として経済も活性化している。

**国家中心都市：国務院により指定された8都市

（北京市、上海市、広州市、重慶市、天津市、武漢市、成都市、鄭州市）

***副省級市：地方自治体の一種であり、とくに重要な地級市（二級行政区）で大幅な自主権が与えられる都市

現在 15地級市が副省級市に定められている

■ 西安市：陝西省の省都、副省級市

人口：847万人（2010年）

中国西部最大の都市である。かつて長安と呼ばれシルクロードの主要拠点であり唐の時代には世界有数の大都市であった。

十三の王朝の都として二千数百年の歴史を有す古都であり、観光資源も多く、国家歴史文化名城に指定されたこともあり世界各国からの観光客も多い。

近年は先端技術の開発と産業転化を推進する経済政策が採用されている。

■ 瀋陽市：遼寧省の省都

人口：829万人（2017年）

東北地方の最大規模の都市であり、経済・文化・交通および商業の中心地である。

奉天と呼ばれた時代には日本人も多く住んでいたこともあり、歴史的に日本との結びつきが強い。

鉄鉱石や石炭などの豊富な資源を背景に重工業で発展工業で発展した時期もあるが、その後急速に発展した上海などの沿岸部に後れをとっていた。現在は政府の東北振興を旗印に開発を重点的に支援しており、瀋陽も近代都市に変貌しつつある。

調査結果

一部抜粋
本抜粋版用に再編集

1. 対象者プロフィール

2. 健康と食に対する意識

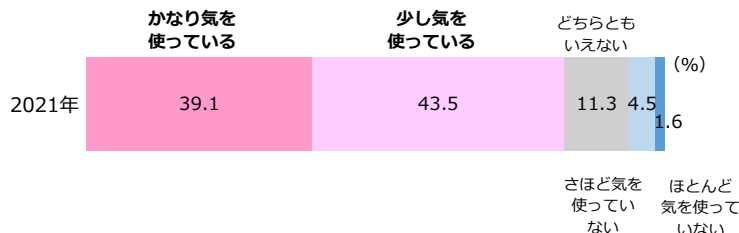
健康への気づかい／ストレス状況 【全体】

- 『健康への気づかい』の割合は高く、「かなり気を使っている」は全体の約4割、「少し気を使っている」を合わせると「気を使っている（計）」は8割を超えた。
- 『ストレス』については、「かなり感じている」、「やや感じている」はともに3割以上で、合わせると約7割がストレスを感じていた。

Q10. あなたはふだん、どの程度「健康」に気を使っていますか。
Q11. あなたはふだん、どの程度「ストレス」を感じていますか。

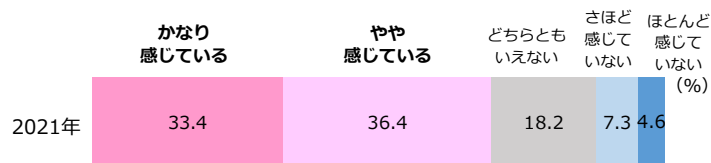
■ 健康への気づかい

(対象者：全体 n=3,500)



■ ストレス状況

(対象者：全体 n=3,500)

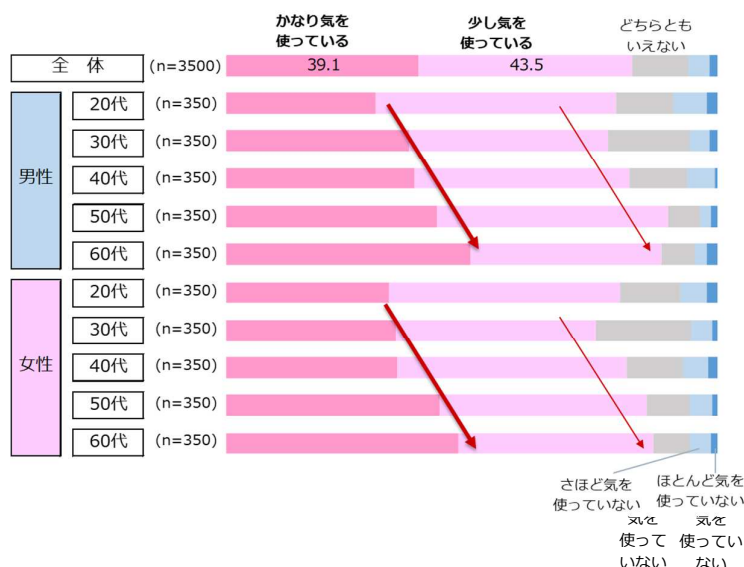


健康への気づかい／ストレス状況 【性別・年代別】

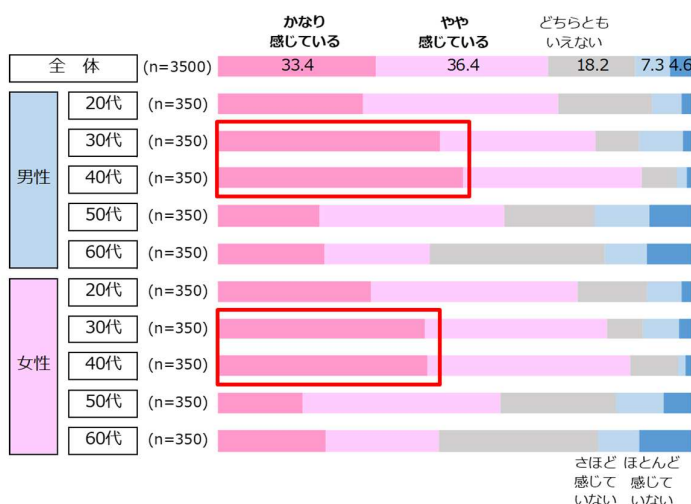
- 『健康への気づかい』について「かなり気を使っている」で比較すると、男女ともに年代が高くなるほど増加し、60代で最も高かった。
- 「ストレスをかなり感じている」は男女ともに30代と40代で高く、特に男性で高かった。

Q10. あなたはふだん、どの程度「健康」に気を使っていますか。
Q11. あなたはふだん、どの程度「ストレス」を感じていますか。

■ 健康への気づかい



■ ストレス状況



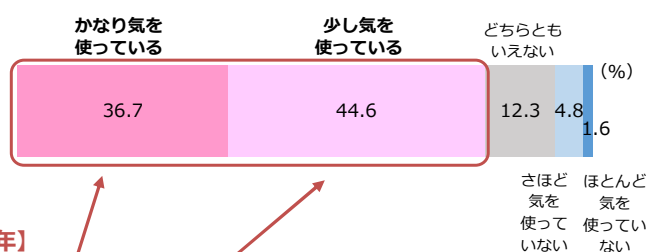
- 2015年との比較では、『健康に気を使っている』割合は大きく高まった。
- 『ストレス状況』も、健康への気づかいと同様に「ストレスを感じている」割合は2015年よりも高まった。

Q10. あなたはふだん、どの程度「健康」に気を使っていますか。
Q11. あなたはふだん、どの程度「ストレス」を感じていますか。

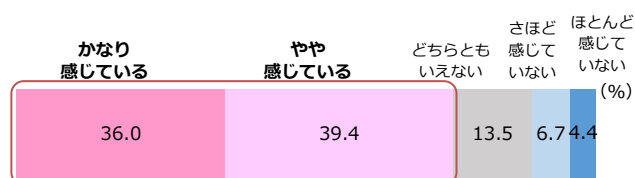
【2021年】

■ 健康への気づかい

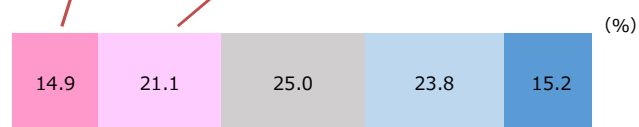
(対象者：20-59歳 n=2,800)



■ ストレス状況



【2015年】



(対象者：全体 n=3,000)

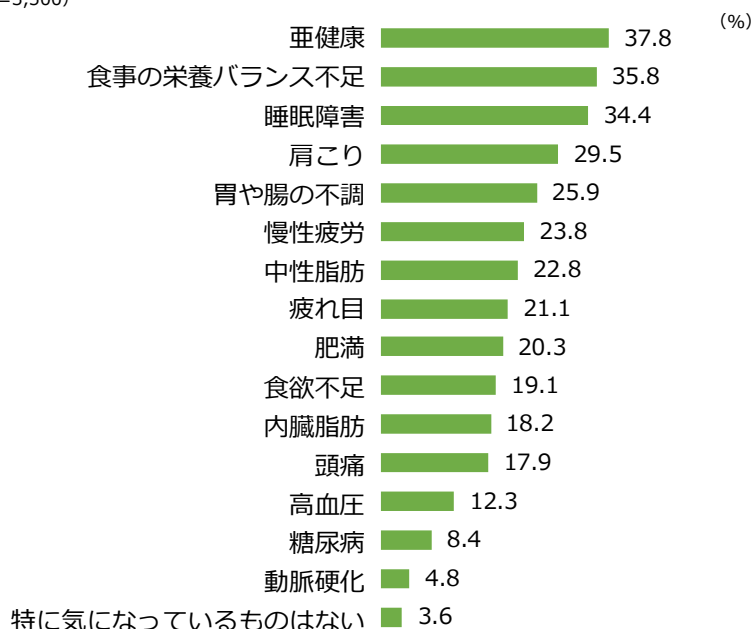


健康について現在気になっているもの 【全体】

- 健康について現在気になっているものは、全体で「亜健康」、「食事の栄養バランス」、「睡眠障害」が多くあがった。
- ※ 全体で最も多くあがった「亜健康」とは、中国で20年くらい前から注目されている考えで、健康と病気の間で、何かしら不調の自覚症状はあるが診断では病気ではない状態。

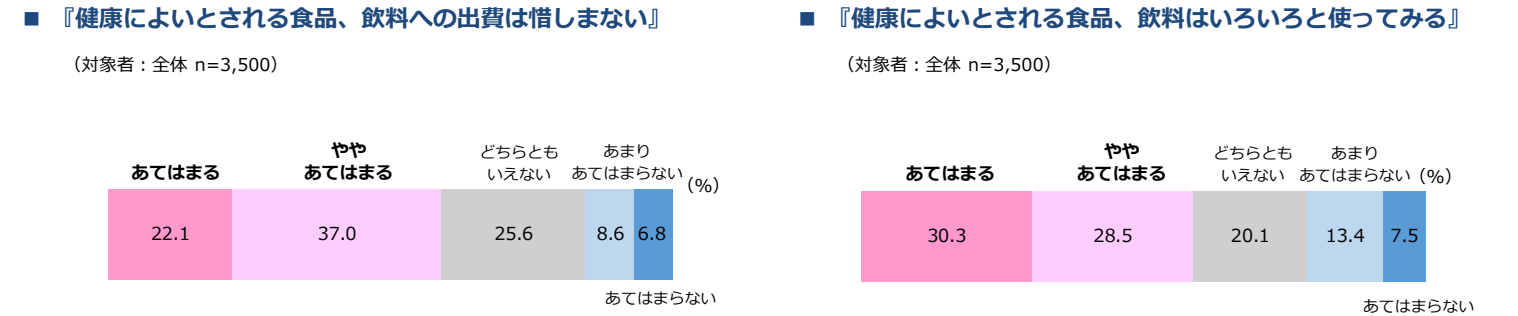
Q19. あなたが現在気になっているものを以下からすべてお答えください。

(対象者：全体 n=3,500)



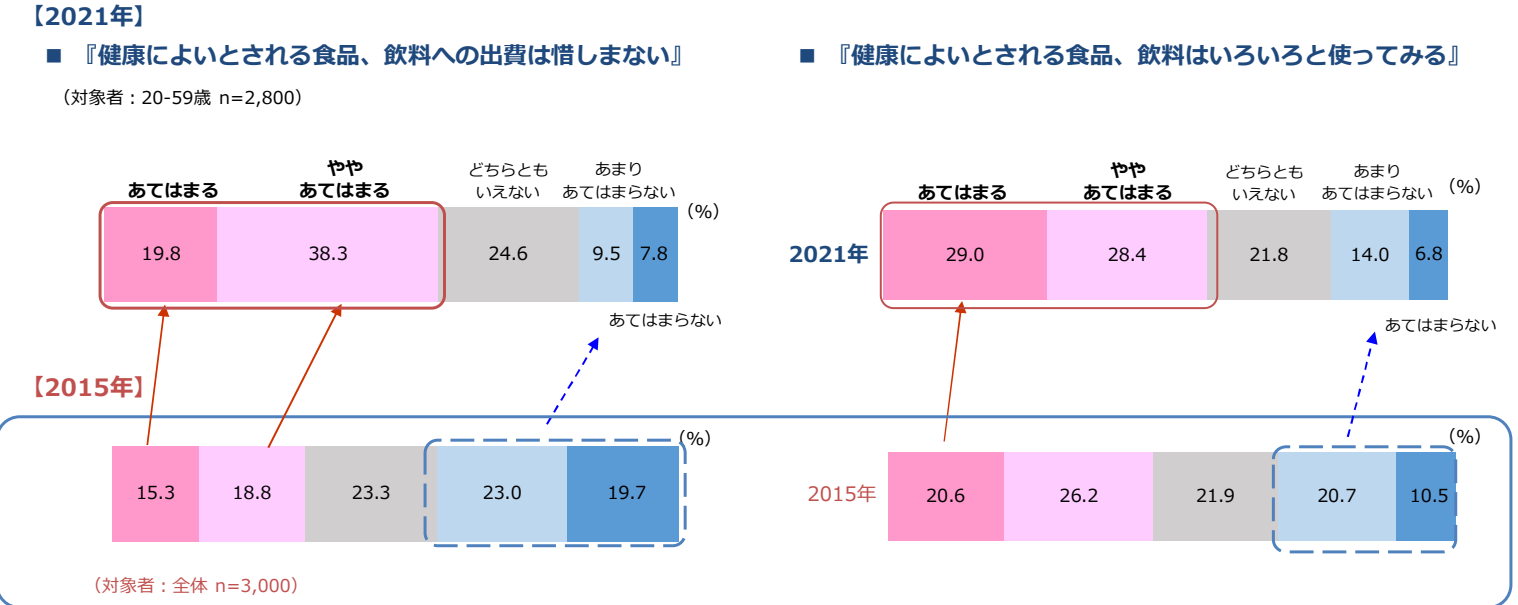
- 『健康によいとされる食品、飲料への出費は惜しまない』は、全体で「あてはまる」が2割強だが、「ややあてはまる」を合わせると約6割が肯定的であった。
- 『健康によいとされる食品、飲料はいろいろと使ってみる』は、「あてはまる」、「ややあてはまる」とも約3割と合わせて約6割であった。
ともに肯定的意識（あてはまる計）は6割であったが、「あてはまる」で比較すると『いろいろと使ってみる』は『出費は惜しまない』よりも高かった。

Q13. 以下の「健康」に関することで、あなたの気持ちに最も近いと思うものをお答えください。



- 『健康によいとされる食品、飲料への出費は惜しまない』は、2015年から「あてはまる」、「ややあてはまる」とも大きく高まった。
- 『健康によいとされる食品、飲料はいろいろと使ってみる』は、「あてはまる」は2015年から約10ポイント程度と大きく増加した。

Q13. 以下の「健康」に関することで、あなたの気持ちに最も近いと思うものをお答えください。

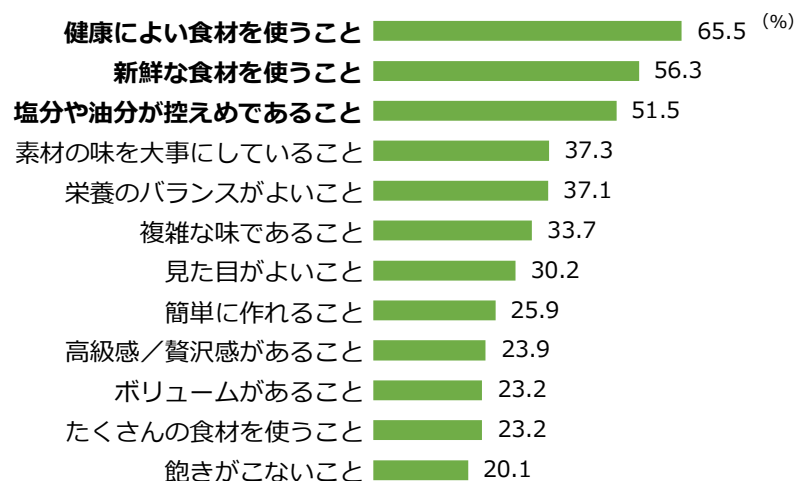


「ふだんの食事」について気にしていること 【全体】

- 全体で「健康にいい食材を使うこと」が最も高く、「新鮮な食材を使うこと」が2番目となり、『良い食材』に対する意識が高かった。以下、「塩分や油分が控えめであることが」、「素材の味を大事にしていること」、「栄養のバランスがよいこと」、「複雑な味であること」、「見た目がよいこと」が続いた。

Q9. あなたが、「ふだんの食事」について気にしているのはどのようなことですか。
以下からあてはまるものをすべてお答えください。

(対象者：全体 n=3,500)

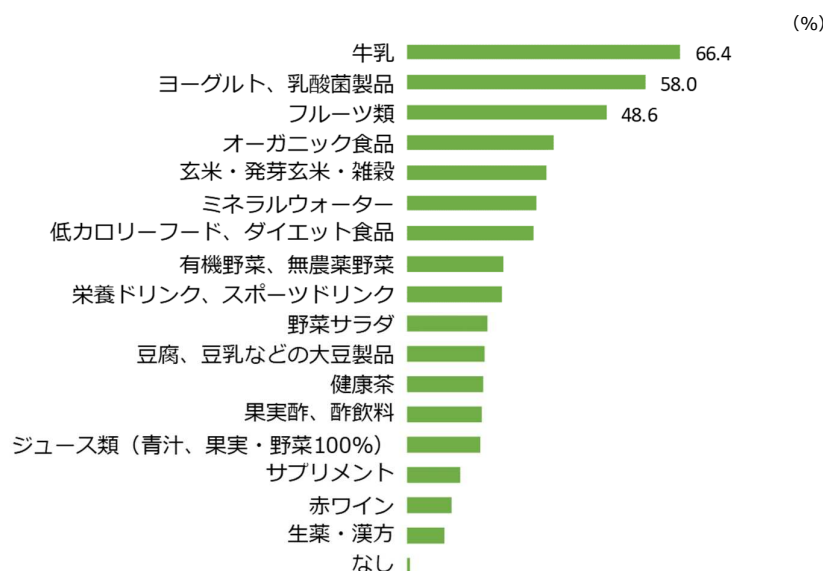


健康・美容のために実際に定期的に食べたり飲んだりしているもの 【全体】

- 健康・美容のために実際に定期的に食べたり飲んだりしているものは、全体で「牛乳」が6割以上と最も高く、2番目の「ヨーグルト、乳酸菌製品」が約6割と、『乳製品』の利用が非常に高かった。その他では「フルーツ類」が高く、以下「オーガニック食品」、「玄米・発芽米・雑穀」、「ミネラルウォーター」、「低カロリーフード、ダイエット食品」などが続いた。

Q14. あなたが現在、健康・美容のために実際に定期的に食べたり飲んだりしているものを以下からすべてお答えください。

(対象者：全体 n=3,500)



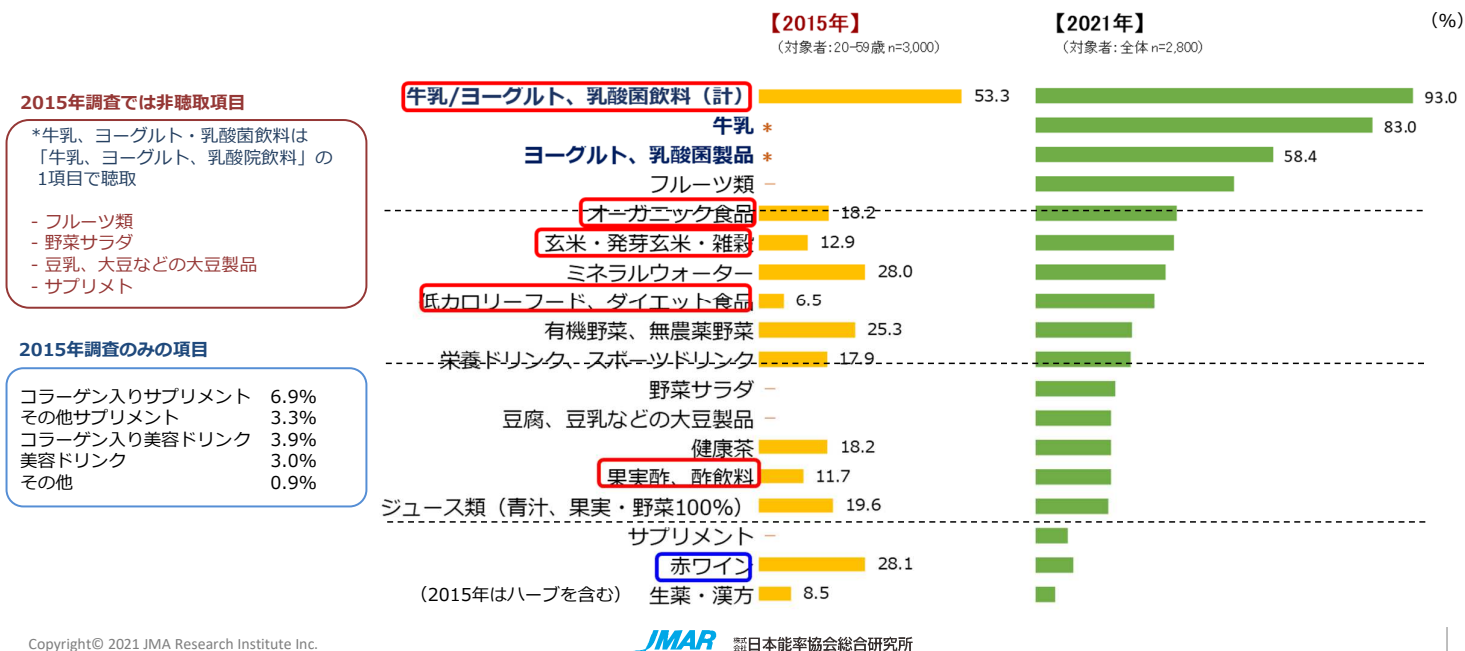
参考) 健康・美容のために実際に定期的に食べたり飲んだりしているもの

【2015年との比較：男女20～59歳】

呈示した項目（食品や飲料）が異なっているため参考として記載

- 2015年から高まったもの：「牛乳／ヨーグルト、乳酸菌飲料」、「オーガニック食品」、「玄米・胚芽玄米・雑穀」、「低カロリーフード、ダイエット食品」、「果実酒・酢飲料」
- 大きな変化がないもの：「ミネラルウォーター」、「有機野菜、無農薬野菜」、「栄養ドリンク、スポーツドリンク」、「ジュース類」
- ▲ 2015年から下がったもの：「赤ワイン」

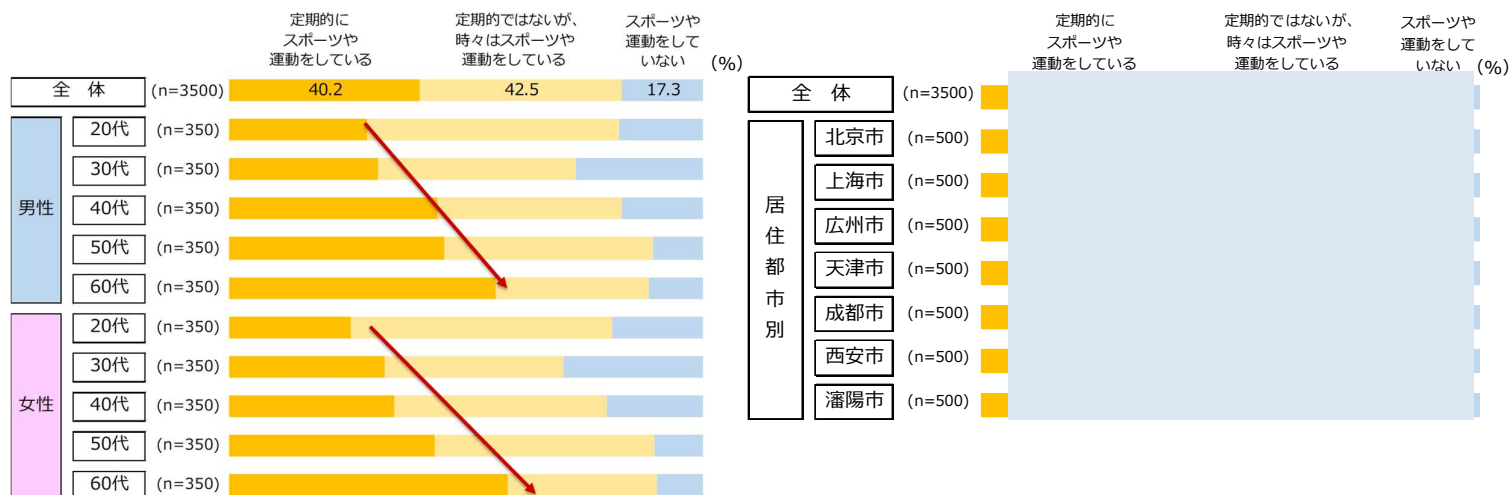
Q14. あなたが現在、健康・美容のために実際に定期的に食べたり飲んだりしているものを以下からすべてお答えください。



3. スポーツや運動の実施状況

- 「定期的にスポーツや運動をしている」のは全体の約4割、「定期的ではないが時々スポーツや運動をしている」は4割強、「スポーツや運動はしていない」は2割未満であった。
- 「定期的にスポーツや運動をしている」を年代別に比較すると、男女とも20代で最も少なく、年代とともに高まり60代で最も多かった。一方で「スポーツや運動はしていない」は男女とも30代で最も多かった。
- 居住都市別に大きな差はなかった。

Q20. あなたは現在、定期的にスポーツや運動をしていますか。

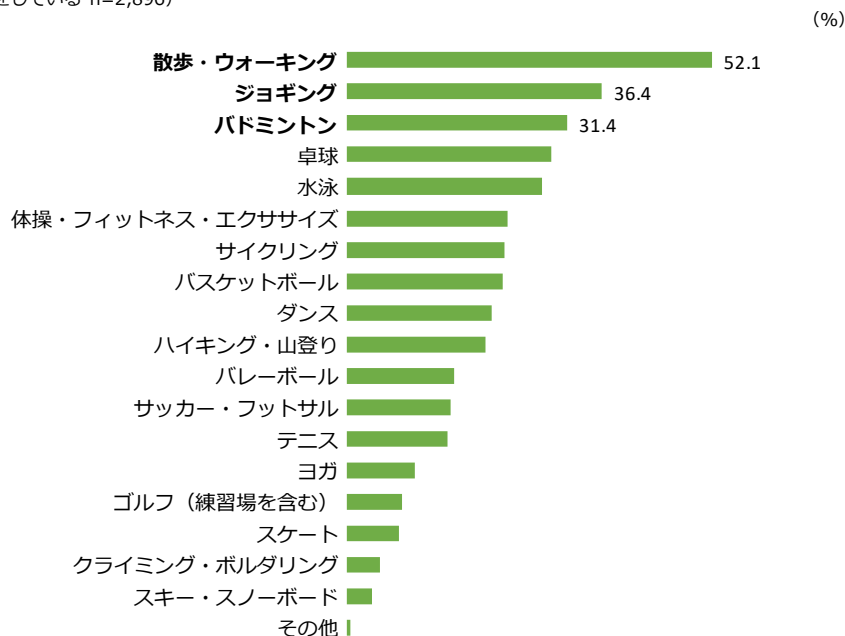


現在行っているスポーツや運動 【スポーツや運動をしている：全体】

- 「散歩・ウォーキング」が全体の半数以上と最も多く、2番目に「ジョギング」、3番目に「バドミントン」となり、以下、「卓球」、「水泳」、「体操・フィットネス・エクササイズ」、「サイクリング」、「バスケットボール」、「ダンス」の順であった。

Q21. あなたが行っているスポーツや運動を以下からお答えください。

(対象者：スポーツや運動をしている n=2,896)



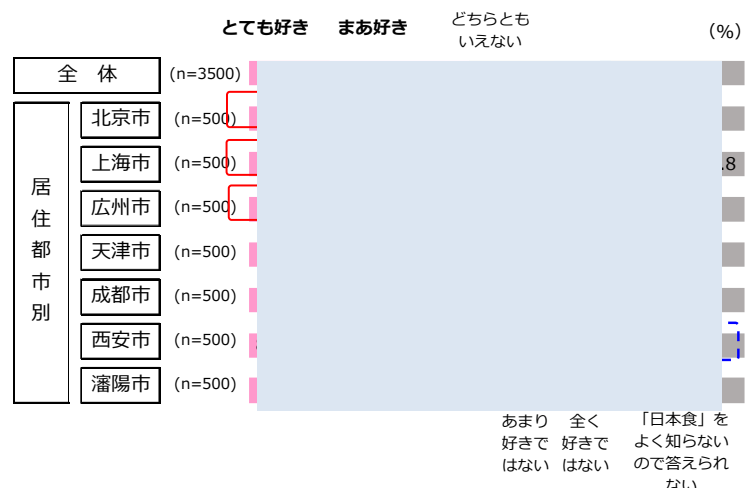
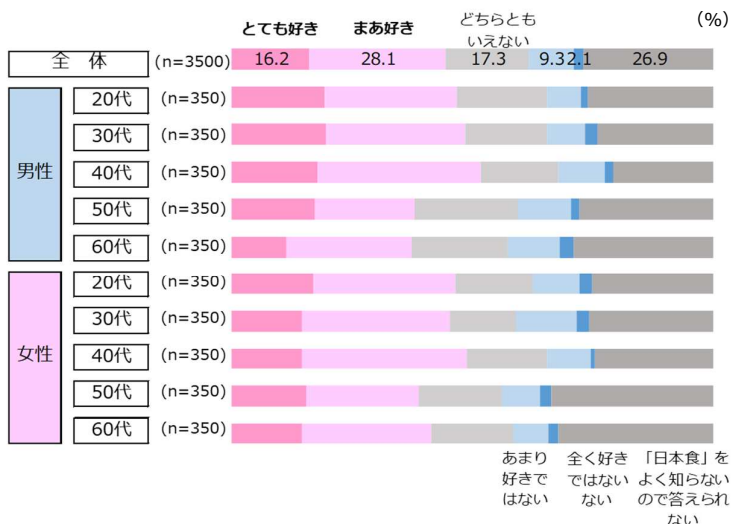
4. 日本食への好意度と 日本食メニューの認知、よく食べるメニュー

「日本食」に対する好意度 【性別・年代別／都市別】

- 日本食に対する好意度は、全体で「とても好き」は16.2%、「まあ好き」は28.1%と好意的な評価（計）は44.3%であった。一方で「好きではない（計）」は合わせて1割程度であったが、「日本食をよく知らないのでは答えられない」は26.9%と全体の3割弱いた。
- 年代別では、20代から40代と50代以上でやや差があり、20代から40代の方がやや高かった。
- 北京市、上海市、広州市の大都市居住者で日本食の好意度はやや高かった。
西安市居住者は「日本食をよく知らない」が半数以上と他の都市と比較すると知らない割合は多かった。

Q24. あなたは「日本食」全般が好きですか。

※「日本食」とは、一般的に日本でよく食べられている料理、食品とお考え下さい。



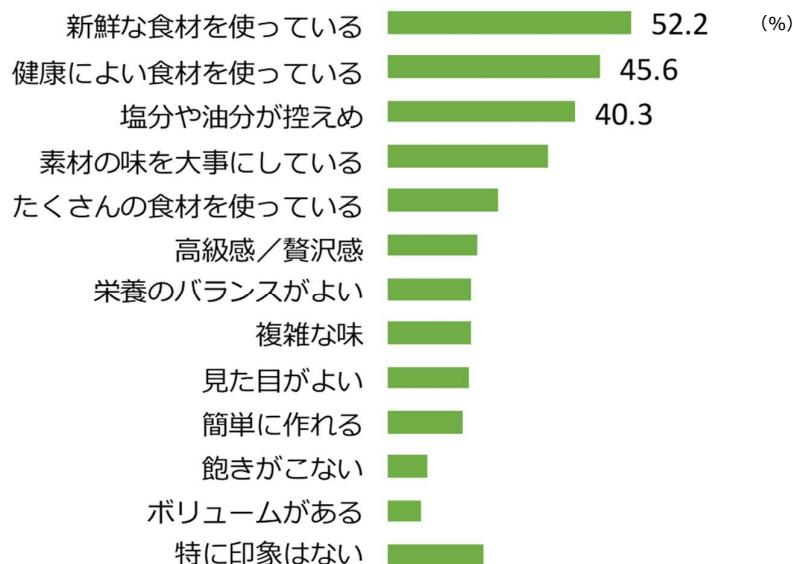
「日本食」のイメージ 【全体】

- 日本食に対するイメージは、「新鮮な食材を使っている」が全体で半数以上と最も多くあがり、以下、「健康に
よい食材を使っている」、「塩分や油分が控えめ」、「素材の味を大事にしている」、「たくさんの食材を使っ
ている」が続いた。

Q23. あなたにとって「日本食」はどのような印象がありますか。以下からあてはまるものをすべてお答えください。

※「日本食」とは、一般的に日本でよく食べられている料理、食品とお考えください。

(対象者：全体 n=3,500)



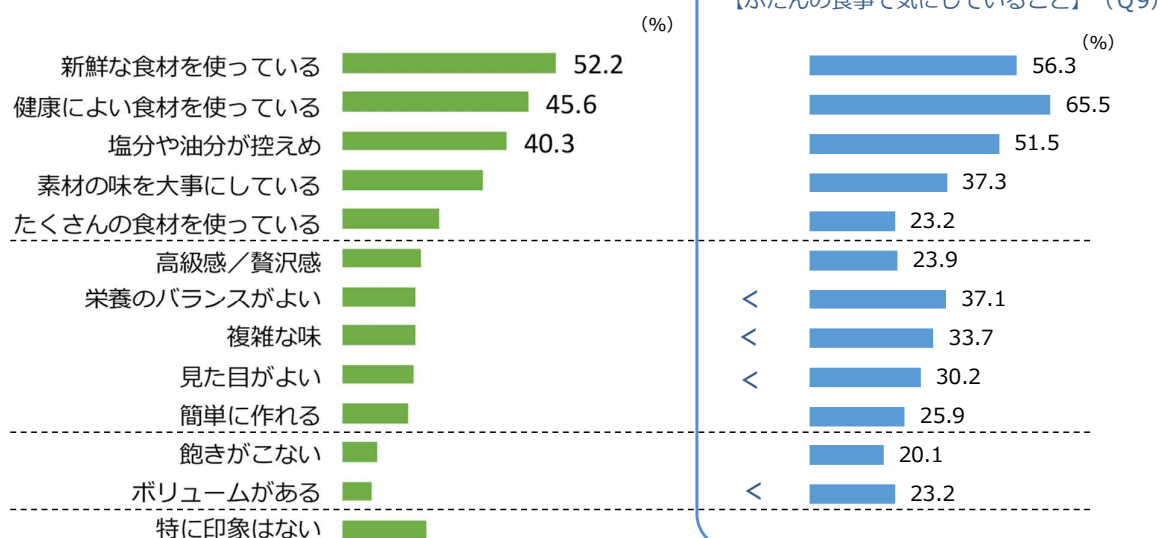
『日本食のイメージ』と『ふだんの食事について気にしていること』の比較 【全体】

- 『日本食のイメージ』と『ふだんの食事について気にしていること』を比較すると、ふだん気にしていることで高かった
「新鮮な食材を使っている」、「健康によい食材を使っている」、「塩分や油分が控えめ」、「素材の味を大事にし
ている」などは日本食のイメージでも高く、ふだん気にしていることと合致している点であった。
一方で、「栄養のバランスがよい」、「複雑な味」、「見た目がよい」などは日本食イメージは低く差が大きかった。

Q23. あなたにとって「日本食」はどのような印象がありますか。以下からあてはまるものをすべてお答えください。

※「日本食」とは、一般的に日本でよく食べられている料理、食品とお考えください。

(対象者：全体 n=3,500)



- 「寿司」、「おにぎり」、「おでん」、「刺身」の認知度が全体の6割前後と高かった。以下、「鉄板焼き」、「そば、うどんなどの麺類」、「日本酒・焼酎」、「（日式）焼肉」の順で高かった。
- 外食でよく食べるものは、全体で「寿司」、「刺身」、「おにぎり」、「鉄板焼き」、「日本酒・焼酎」が高かった。「おでん」は認知度は高いが外食で食べるメニューとしては低かった。「親子丼、牛丼などの丼もの」は認知度に対する外食率が高いのが特徴。
- 「寿司」、「刺身」、「おにぎり」は持ち帰り、通信販売の利用率も高かった。

Q25. 以下にあげた「日本食」の中で、あなたが知っているものを以下からお答えください。

Q26. あなたが、レストランなどの外食でよく食べる「日本食」を以下からお答えください。

Q27. あなたが、百貨店やスーパーや外食店での持ち帰り、通信販売を利用してよく食べる「日本食」を以下からお答えください。

（対象者：全体 n=3,500）

【知っている日本食】
(A)

【外食でよく食べる】
(B)

【持ち帰り、通売で
よく食べる】
(C)

(%)

結果の要約

(株)日本能率協会総合研究所のご紹介

会社概要

会社名 : 株式会社 日本能率協会総合研究所
設立 : 1984年4月3日
資本金 : 1億5,000万円
代表者名 : 議原 正昭
本社 : 〒105-0001 東京都港区芝公園3丁目1番地22号 日本能率協会ビル5F
代表電話 : 03-3434-6282
職員数 : 225人

株式会社日本能率協会総合研究所は、1984年に企業のマーケティングを支援する目的で会員制情報提供サービスを事業展開していたマーケティング・データ・バンク（MDB）と、国や自治体からの都市計画や交通計画などの受託研究を事業としていたシンクタンク部門を統合して、情報サービスと調査研究のシナジー効果による新しいスタイルの研究機関を創設しました。その成果として、企業のマーケティングや経営をサポートする事業が大きく育成され、多くの企業の新製品・サービスや新事業の成功に貢献しております。

主な業務内容

「民間企業支援」

一般消費者調査、CS調査、ES調査、医療・医薬品マーケティング、医療福祉経営

「国および地方自治体の公共団体支援」

国土・地域・まち、環境・リサイクル、パブリックマネジメント、モビリティ、医療・福祉、雇用・労働、組織・人事

取得認証、資格

ISO9001

プライバシーマーク

ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）

くるみん取得

日本能率協会（JMA）グループ

社団法人	日本能率協会（JMA）
株式会社	日本能率協会マネジメントセンター（JMAM）
株式会社	日本能率協会コンサルティング（JMAC）
株式会社	ジェーエムエーシステムズ（JMAS）
社団法人	企業情報化協会（JIIT）
社団法人	日本プラントメンテナンス協会（JIPM）
株式会社	JIPMソリューション（JIPM-S）
社団法人	日本工業英語協会（JSTC）
株式会社	ニチノー
株式会社	日本能率協会総合研究所（JMAR）

■ 外国人ネットワークを利用したリサーチ・サービス

日本能率協会総合研究所とビズエイジア株式会社が提供する日本在住の外国人ネットワークを利用したリサーチサービスです。日本語が堪能な在留外国人のネットワークを活用し、海外進出を検討している商品・サービスに対する評価、現地の市場状況、習慣や流行りなどのリアルな情報を短期間に収集することができます。

調査方法

インタビュー調査、ホームユーステスト、観光地等の視察調査、など

活用事例

- ・国内周遊プランの実体験とその後のインタビュー調査
- ・国内旅行プランのアイデア調査
- ・国内の名産品の試食調査
- ・複数言語のレポートの翻訳とまとめ作成



■ 中国におけるリモート・ホームビジット（家庭訪問）調査

リモート機能を活用した中国の一般家庭へのホームビジット調査です。現地スタッフが対象者の家庭を訪問し、実際の使用状況などをリアルタイムで撮影し、同時にインタビュー調査も可能です。日本語が堪能な現地スタッフが対応しますので、その場での同時通訳によるインタビューが実施できます。

活用事例

- ・家庭のキッチン、冷蔵庫などを見ながらのインタビュー調査
- ・化粧品、美容品などの確認しながらのインタビュー調査
- ・家庭の収納家具、収納状況などをみながらのインタビュー調査 など

上海日本能率協会総合研究所

会社名 : 上海日能綜研企業管理諮詢有限公司
JMA Research Institute Shanghai Inc.
創業 : 2002年4月
代表者名 : 総経理 孫 芸
住所 : 〒200032 上海市中山西路1800号兆豐環球大廈6I室
URL : <http://www.jmar-china.cn/customer/index.html>
E-mail : info_sh@jmar.cn (日本語可)

主な業務内容

消費者調査：会場調査、インターネット調査、定性調査（グループ・インタビュー、個別インタビュー）、ホームユーステスト
その他調査：業界調査、競合調査、営業先・提携先等リスト作成、信用調査 等

※ 会場調査、グループ・インタビューは、日本からWEB経由でのリアルタイム観覧も可能です。

調査風景

【会場調査】



【定性調査（フォーカス・グループ・インタビュー）】



日本能率協会総合研究所は、公開情報の収集から、受託調査まで幅広く情報収集をサポートを行って運営する会員制サービス“マーケティング・データ・バンク（MDB）”を運営しております。MDBは1969年に設立され、約2,000社の企業・事業所が会員として利用する我が国最大級の情報提供機関です。日本はもとより海外情報についても長年の蓄積した情報源の知見を活用し高度な情報検索技術の資格を有した情報コンサルタントが、MDBの所蔵資料を活用した調査を実施しており、国内外のデスクリサーチにおいて官公庁、民間企業のクライアントより高い評価を受けております。

MDBの特長

- (1) 社内に保有しているライブラリーとしてのMDB（マーケティングデータバンク）
- (2) 社内から海外の既存資料へスピーディーなリサーチを可能にする海外デスクリサーチシステム
- (3) 世界各国で品質の高い調査を実現するために構築したグローバルリサーチネットワーク

MarketingDataBank

日本最大のビジネス&マーケティングライブラリ

国内外の様々なセカンダリーデータを保有。食品・流通領域のデータも充実。

会員数	2,000社
所蔵資料点数	20万点以上
収集資料点数	年間約1万点
雑誌年間収録点数	5,600点
雑誌・新聞タイトル数	約500タイトル
資料収集先	約5,500機関

★有用情報源のナレッジを含めた文献検索システムを構築



海外デスクリサーチシステム

専門の知識・技術が必要とする海外の数千種類の商用DBを用いて海外の市場動向、技術動向、企業情報などにアプローチ

Thomson Research	INPADOC
Profound	Bureau Van Dijk
DIALOG	Directory of Chemical
Dun Report	Gale Group PROMT
STN international	Ecology Express
Mergent Industry Report	Factiva
WIPO	OneSource など



プロジェクトリーダーが上記ネットワーク・リソースを有効活用



検索技術者の資格を有した情報コンサルタント

グローバルリサーチネットワーク

信頼できる現地パートナー企業、フリーのリサーチャーをネットワークし、様々な調査が実施可能な体制を構築。調査ニーズは多い中国においては、現地に拠点を設置し顧客の要望に対応している。そのほかのアジア地域、欧米においてもリサーチネットワークを拡充。



JMAR 株式会社 日本能率協会総合研究所

問い合わせ先

マネジメント・マーケティング研究事業本部 担当：真上

URL：http://jmar-im.com

住所：〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 5階